

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第1回高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会
開 催 日 時	平成30年11月21日（水） 午前10時～11時48分
開 催 場 所	市役所 4階 会議室
議 題	(1) 会長の互選及び職務代理者の指名 (2) 諮問：高松市議会の議員報酬の額、市長及び副市長の給料の額並びに議会における政務活動費の額について (3) その他
公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の理由	—
出席委員	6人（奈良委員欠席） 桑城秀樹、高塚順子、小笠原勝範、中澤悦子、深田幸夫、山田径男
傍 聴 者	2人
担 当 課 及 連 絡 先	総務課    (Tel 839-2181)

### 【経過及び結果】

#### 1 会長の互選及び職務代理者の指名

会長については、桑城委員を推挙する意見が出され、全員一致で了承された。

職務代理者については、会長が高塚委員を指名した。

#### 2 会議の公開の決定

会長から本審議会の会議を公開とする旨の発言があり、今後、会議を非公開とすべき審議事項が生じた場合には、その都度、本審議会において公開・非公開を決定することとした。

#### 3 審議会資料の説明

市長からの諮問の後、事務局から本市の議員報酬、市長及び副市長の給料、政務活動費の額の状況、本市の財政状況、人事院・香川県人事委員会の勧告内容、他市の状況等について説明し、それらに対し各委員から質問及び意見等が出された。

### 【主な質疑応答】

委員) 資料8 ページ上段の政務活動費の執行状況の表について、執行金額が調査研究費、研修費、広報費などの費目に分けられているが、これは議員自身が各費目に分けて申告しているのか。

事務局) 政務活動費については、使途基準が「政務活動費の使途基準運用指針」の中で定められている。

この運用指針に基づき各費目に仕訳されることになっており、各費目の使途基準に沿って使用される費用であれば認められるのが実態である。いずれにせよ、議員自身が議員活動を行う上で、それぞれの判断で費目を振り分けているのが実態である。

委員) 平成29年度実績において、広聴費が0円であるが、これはどのような理由によるものか。

事務局) 広聴費については、市政及び議員の活動について市民から要望や意見を聞き、又は市民相談等の活動を行うための経費とされており、具体的には会場の借上料、印刷費、湯茶代、その他必要な経費とされており、主に懇談会や対話会を行うに当たって必要な経費となっている。

委員) どの議員も0円なのか。

事務局) そうである。実際に相談活動は各地域で行われていると思うが、事務所や自宅で行うなど、特段の費用を要さないケースも実際にはあると考えられ、その結果、広聴費の計上がなかったものと思われる。

委員) 資料15ページから16ページにかけての、四国4県の県庁所在市の市長等の給料月額についての資料であるが、松山、高知、徳島は市長の給与等について、現在減額措置を行っているが、減額措置の理由は何か。

事務局) 現在聞いているところによると、主に財政状況の悪化を理由としたものである。具体的に松山市の回答では、厳しい財政状況によるためとの回答を得ている。また、四国以外の中核市の回答でも、減額を行っている主な理由としては、財政状況によるものとの回答が多い。

委員) 四国内の他の3市がすべて減額措置を行っているが、高松市のみが減額を行っていないことにはどのような理由があるのか。

事務局) 資料18ページの財政状況についての資料に記載しているが、財政力指数について、4県都中、高松市が最も高い状況にあり、財政状況については良好な状態にあると考えられる。そのあたりで各市の判断が分かれているものと考えられる。

委員) 17ページの香川県知事等の給料の月額についての資料を見ても、香川県が減額措置をしていない状況もあるので、香川県としても、良好な状況であるといえるのではないか。

事務局) 以前、香川県も財政状況の悪化を理由に知事等の給与の減額措置を実施していたが、その頃の状況に比べれば、良好になっているという判断があるものと考えている。

委員) 8ページの政務活動費について、市民は、政務活動費を有効に使うことで地域に根差した活動をしてほしいと考えている。また、議員の活動については、活動が多い議員と、余り活動をしない議員がいるが、政務活動費の返還との相関関係はあるのか。

事務局) そのあたりは難しい部分がある。先ほどの質問でも答えたが、広聴費の執行がないのは費用が掛からないように工夫して広聴を行っているとも考えられるので、そのように工夫して活動を熱心に行っている議員は結果的に返還額が大きくなる可能性がある。一定の相関関係が無いのかといえば、無いとは言い切れないが、返還額が大きいから議員活動を行っていないかと言えば、必ずしも、そうとは言えないものと考えている。

委員) 返還者数は去年より減っている。それをどう見るかということもある。

事務局) 支給額は上限の額になるので、これを超える部分については、自己の議員報酬から捻出しているということも考えられる。

委員) 資料13ページのとおり、金額だけ見れば、高松市と同額の年間120万円という自治体が多い。全国レベルで見れば、高くも安くもないと言えるのではないか。四国内で比較しても妥当な額ではないか。

委員) 一方、資料3ページの市長等の活動状況を見ると、相変わらず市長の仕事が多いと感じる。

事務局) 休日も含め、かなりの日数活動をしている状況である。

委員) 様々な会を開催する立場からすると、市長に来てほしいという思いがあり、市長も、それに応えようと活動してこのような状況になっていると思う。

事務局) 休日以外でも、時間外の夜間に会合等に呼ばれる機会も多くあると聞いている。かなり多忙であるのは間違いない状況である。

委員) 民間企業において、賃金を決定する際の三大要素は、物価動向、雇用情勢、企業業績と言われている。言い換えれば支払能力であり、それらに世間相場、例えば他社動向、他産業動向を加えて賃金を判断している。物価動向は、日本銀行が2%の物価上昇を目標に政策を進めているものの、平成30年度の見込みは、年度前半でプラス0.9%、足元はガソリン価格の高騰などの影響でプラス1.2%という微増の状況にある。雇用情勢は、業態を問わず人手不足で民間企業では大きな問題になっており、結果的に初任給や給与を引き上げる必要があるなどのひっ迫感がある。企業業績は、一概には判断できないが、9月の日銀短観を見ると、経営者の景況感は3期連続で悪化しており、全体としては、引き続き好調を維持しているものの、先行きに関しては自然災害・原油高・米中の貿易摩擦などで企業心理を下押ししている。一方、地方経済は全国企業ほどの景況感はない。世間相場は、今春の賃上げが、2.26%だったが、その内訳は、定期昇給が1.8%で、ベースアップは0.46%程度の微増に留まった。民間の判断基準を本市に置き換えてみると、物価は民間と同様に微増だが、雇用情勢は関係性が薄い。企業業績については、本市の財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率などから、前年度に比べ改善が見られ、一定の努力は認められる。ただし、中期財政収支見通しやプライマリーバランスなどを見れば、将来的には予断を許さない状況である。また、世間相場として、中核市や四国内の給与・報酬水準を見ると、本市の財政規模から考えて、妥当な順位にあると思われる。なお、人事院・県人事委員会からは、給与やボーナスの引上げが勧告されている。

このような官民の状況を踏まえると、市長・副市長の給与、議員の報酬は、今回引上げ、引下げを行う特段の理由は見出し難い。月例給を上げなくても、人事院勧告により期末手当は増加する。よって、現状維持でよいのではないかと考える。ただし、来年10月には消費税の引上げが予定されており、物価の動向等を踏まえて、来年度は市長・副市長の給与、議員の報酬の水準について大いに議論する必要が生じるのではないかと。

委員) 政務活動費について、年間120万円は大きい金額である。この金額を有効に使うって活動を行う議員も、しっかり工夫して活動を行い、余った政務活動費を返す議員も一生懸命活動しているのだと思う。ただ、中途半端な形で全額を使い切るというケースについては、対応が必要である。政務活動費の使い方と比較するのは難しいが、我々市民がしっかりと見ていかなければならないと思う。また、市長、副市長の給与については、先ほど発言の委員の意見に同意する。資料の中で気になったのは、負債の部分である。高松市の状況は良いように見えるが、仏生山町に完成したみんなの病院や、ことでの新駅整備など、これからの支払の予定が多くある。そのような負債を抱えていくと、先行きはそんなに簡単なものではないと感じる。

委員) そのあたりの状況を踏まえて、額を下げようという方向にはならないか。

委員) 下げてもうまくいくのであれば下げたらいいが、現状ではそんなに上げる、下げるをするような状況にない。先がものすごく明るい見通しが立つのであればよいが、その状況にない。

委員) 10ページ、11ページの資料について、市長、副市長の給与は、月額では順位が結構高いなど

感じるが、年額にするとだいぶ低くなる。その理由の説明は先ほど受けたとおり期末手当の支給率の差や、地域手当の有無によるものだが、年額の順位を見れば、妥当な金額であると感じている。ただ、先ほど発言の委員の話のとおり、来年の消費税増税による動向は見極める必要がある。

委員) 来年の議論の際には、消費税増税のインパクトを我々がどのように解釈し、額に反映させていくのか、今まで以上に判断材料が必要になる。

委員) 消費税増税前の動きとして、駆け込み消費なども出てくると思う。

委員) 短期的には消費が増えるが、その後がどのようになるのかも重要である。

委員) また、人手不足も深刻な問題であると感じる。

委員) 県などは、東京や主要大学に出向き、香川県出身者を呼び戻そうという動きもあるが、現状では東京、大阪へ人材がどんどん流出している状況である。介護や病院など求人は多いが、給与の関係なのか、重労働が敬遠されるということなのか、必要な所に人材が集まってくれないという状況がある。

委員) 市長、副市長の給与が高いのは、業務が大変ということもあるが、危機的な状況が生じた際に、リーダーシップをとってもらいたいという側面もある。そのようなことも考えての金額の設定だと認識している。それを踏まえると金額的には妥当であると思う。ただし、危機的な状況はいつ起こるか分からない。その際に体調面に不安があっては困るので、その意味では、市長の勤務日数が340日もあり、副市長の勤務日数も同様に多い状況では、平時は良くても大災害が起こった場合に、このような勤務状況で対応できるのかという不安がある。やはり勤務日数を減らす努力が必要だと感じる。

また、資料8ページの政務活動費の執行状況について、平成27年度から返還者が極端に増えたが何か大きな理由があるのか。

事務局) 平成27年度は、ちょうど改選期に当たるので議員の構成が変わったということは一つの理由として考えられる。

委員) 政務活動費の年間120万円は貴重なお金なので、大切に、また効果的に使ってほしい。また、議員報酬について、議長、副議長になると報酬が上がるが、当選年数によって報酬は上がらないのか。

事務局) 報酬額は一定金額である。

委員) 年金額のみ変わるのか。

事務局) 厚生年金制度に移行していると聞いているので、報酬に応じた金額になる。

委員) 会社員であれば勤務年数に応じて昇給があるが、議員報酬は1期目の議員も何期も重ねている議員も同じ金額なので、そこが少しでも変われば何か変化が起こるのかと思うがどうか。

事務局) 国、県、市町村の議員報酬について、任期で額に差がついているという事例は聞いたことがない。

委員) 委員会の委員長でも報酬に差はないのか。

事務局) 委員長についても報酬に差はない。ただ、議長、副議長については、議長、副議長としての一定の役割があるので、それに見合った報酬額となっている。

委員) 議員についても、何年か前になり手がいないという話が出ており、議員報酬を下げ、低い報酬となれば、選挙で当選できるかどうか分からない中では、議員になろうという人がいなくなるので、ある程度の額は必要であると考えます。さらに言えば、週末等の地域行事等には必ず、地元の議員が出席しているなど、市長、副市長と同じく多忙であると感じる。

委員) 資料18ページの四国県庁所在市の平成29年度決算の歳出において、高松市の歳出における総

務費の割合が他市と比較して大きくなっているが、この理由としては、危機管理センターの建設が一番影響しているのか。

事務局) これまで、一般的に言われているのは、他市と比較すると、人件費の割合が高いという傾向がある。

委員) そうであれば、今年に限らず、これまでも高い状況であったのか。

事務局) 財政当局の説明によると、総務費の割合が高い原因は人件費ということである。市によって行政の業務範囲の考え方に差があり、高松市は業務として担う範囲が大きいと思う。例えば、総務費の中には消防局を除く、一般会計に属する職員の時間外勤務手当等が含まれており、一般会計に属する職員の業務が多忙な状況にあるということも一因ではないかと思う。

委員) 一般職員の給料を減額するというのは、ここで議論する話ではないが、そういった方向にはしてほしくはない。市が担っている業務の領域が他市と異なるとは具体的にはどういったことか。

事務局) 例えば、保育所をどこまで市が運営するのか、市立の高校や病院の設置の状況などである。

委員) 総務費の割合が高いから駄目というわけではない。市が公立の保育所や高校等を抱えることで、ある程度教育の質が担保できる、そのためには人件費もある程度かかってくるというような、市民に分かりやすい広報なども必要になってくるのではないか。

事務局) 次回の審議会までに、総務費の割合が他市より高くなっていることを分かりやすく説明する資料を用意する。